

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

BEST AVAILABLE COPY

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 09093555 A

(43) Date of publication of application: 04.04.97

(51) Int. Cl. H04N 7/14  
 G06F 17/60  
 H04M 3/42  
 H04M 11/00  
 H04M 15/00  
 H04N 7/08  
 H04N 7/081

(21) Application number: 07251122

(22) Date of filing: 28.09.95

(71) Applicant: TOSHIBA CORP TOSHIBA AVE CORP

(72) Inventor: NAKADE TOMOHITO  
HIRABAYASHI KAORU

## (54) TELEVISION RECEIVER HAVING TELEPHONE ORDERING FUNCTION

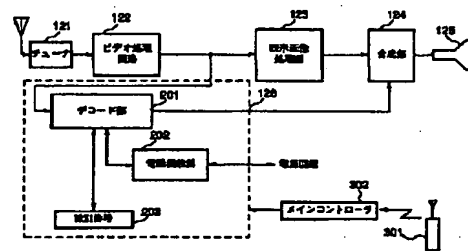
## (57) Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To easily grasp how much the payment reaches and when it reaches by providing a means storing article item information, corresponding price information, total monetary amount information or the like and a means reading the contents and displaying them or the like so as to easily confirm the ordered articles and their prices.

**SOLUTION:** A viewer operates a remote controller 301 to enter an article number of an article desired to be purchased. The information is recognized by a main controller 302, which informs the information to a CPU in a teletext multiplex and data broadcast decoder 126. The CPU is operated according to a script sent in advance to generate order data and provides the data to a telephone set function 202. Then a display of transmission confirmation is obtained by a message. When a transmission enable operation is made, automatic dialing is made and transmission data are outputted to a telephone line. Furthermore, in the case of tele-shopping, information such as purchased articles, prices and payment method or the like is stored in a

memory section 204 and the content is displayed later for confirmation.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO



(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-93555

(43) 公開日 平成9年(1997)4月4日

| (51) Int.Cl. <sup>8</sup>            | 識別記号  | 庁内整理番号 | F I           | 技術表示箇所 |
|--------------------------------------|-------|--------|---------------|--------|
| H 0 4 N 7/14                         |       |        | H 0 4 N 7/14  |        |
| G 0 6 F 17/60                        |       |        | H 0 4 M 3/42  | Z      |
| H 0 4 M 3/42                         |       |        | 11/00         | 3 0 3  |
| 11/00                                | 3 0 3 |        | 15/00         | Z      |
| 15/00                                |       |        | G 0 6 F 15/21 | 3 3 0  |
| 審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 12 頁) 最終頁に続く |       |        |               |        |

(21) 出願番号 特願平7-251122

(22) 出願日 平成7年(1995)9月28日

(71) 出願人 000003078

株式会社東芝

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(71) 出願人 000221029

東芝エー・ピー・イー株式会社

東京都港区新橋3丁目3番9号

(72) 発明者 中出 智史

東京都港区新橋3丁目3番9号 東芝エー・

ー・ピー・イー株式会社内

(72) 発明者 平林 薫

東京都港区新橋3丁目3番9号 東芝エー・

ー・ピー・イー株式会社内

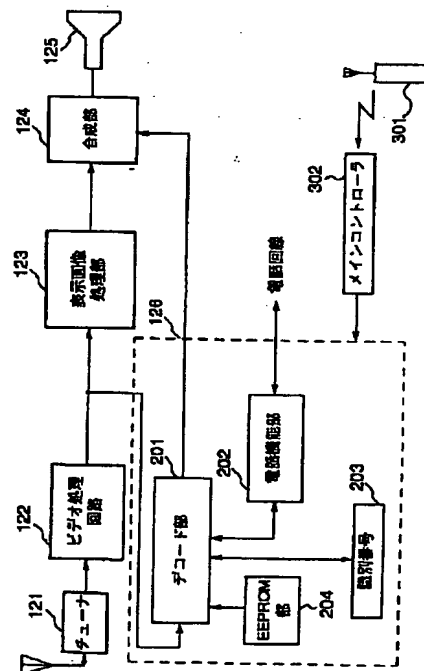
(74) 代理人 弁理士 鈴江 武彦

(54) 【発明の名称】 電話注文機能を有するテレビ受信機

## (57) 【要約】

【課題】 過去に注文した商品や価格の確認が容易にできるとともに、お金の支払いが何時までにいくらになるのかをわかりやすくする。

【解決手段】 テレビ受信機に設けた文字多重及びデータ放送デコーダ126内のデータ処理機能部及び自動電話機能部を利用して、テレビショッピングを行った場合、そのショッピング経歴及び商品情報をメモリ部204に格納しておき、後で何時でも読みだし表示部125に表示できるようにしたものである。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 テレビジョン放送信号を受信できる受信手段と、

前記受信手段の受信信号である番組映像信号を表示手段に表示させるための映像信号処理手段と、

前記受信手段の受信信号に含まれておりその映像・音声信号とは独立したデータチャンネルに多重されて伝送されてくるデータ放送を受信し、復調し、副映像信号を得るデータ放送デコード手段と、

前記データ放送デコード手段が復調した副映像信号を前記番組映像信号に合成する合成手段と、

前記データ放送デコード手段が復調したデータ処理プログラムに基づいて動作し、データ伝送のための操作入力信号に応答して、電話回線に自動的にダイヤリングを行ってデータ伝送を行う電話機能と、

前記データ放送デコード手段が復調したデータ処理プログラムに基づいて動作し、テレビショッピングのための操作入力信号に応答して、伝送すべきデータを前記電話機能に供給するショッピング手段と、

前記伝送すべきデータに対応する少なくとも商品の品目情報、その品目情報に対応する価格情報、個数情報、合計金額情報を記憶するための注文リストテーブルを有した記憶手段と、

前記記憶手段の前記テーブルの内容を、操作信号に応じて読み出し、前記表示器に映像として表示せしめる手段とを具備したことを特徴とする電話注文機能を有するテレビ受信機。

【請求項2】 前記記憶手段は、前記注文リストテーブルを視聴者のIDコード別に格納していることを特徴とする請求項1記載の電話注文機能を有するテレビ受信機。

【請求項3】 前記注文リストテーブルには、さらに品目情報に対応して支払期日情報も含まれることを特徴とする請求項2記載の電話注文機能を有するテレビ受信機。

【請求項4】 前記注文リストテーブルには、さらに一括で支払う場合にマークが記入される一括情報と、分割で支払う場合に残り回数と分割金額情報とが記入される分割情報も含まれることを特徴とする請求項3記載の電話注文機能を有するテレビ受信機。

【請求項5】 前記注文リストテーブルには、さらに支払い終了を示す終了マークが記入される終了情報も含まれることを特徴とする請求項4記載の電話注文機能を有するテレビ受信機。

【請求項6】 操作入力に応答して、前記合計金額情報を加算して、一人のショッピング合計額を計算し表示するサービス手段をさらに有することを特徴とする請求項1記載の電話注文機能を有するテレビ受信機。

【請求項7】 前記サービス手段は、分割払いの品目に関しては合計金額の代わりに残り金額を加算することを特徴とする請求項6記載の電話注文機能を有するテレビ受信機。

【請求項8】 前記終了情報として支払い終了を示す終了マークが付いている品目と、未終了の品目とを分類して前記注文リストテーブルに配置し直す手段を含むことを特徴とする請求項5記載の電話注文機能を有するテレビ受信機。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 この発明は、電話注文機能を有するテレビ受信機に関するもので、テレビジョン放送信号に含めて放送される文字図形等のデータ放送信号を受信処理し、プログラム動作した後、電話回線を通じて外部との交信を行うシステムに適用されるものである。

## 【0002】

【従来の技術】 通常のテレビジョン放送信号に文字や図形データを多重化して伝送する文字放送番組が実現されている。現在サービスが実施されている文字放送番組として、ニュース、天気予報、交通情報、観光案内、テレビショッピングなどがある。また、番組の中で視聴者にアンケート調査を行うような場合もある。

【0003】 ところで、現在の文字放送番組はテレビ局から視聴者に対して一方的に情報を提供する方式である。例えば、テレビショッピングの場合、文字放送でショッピング情報番組を放送した場合、視聴者は画面表示される文字を見ながら希望する商品番号や通信販売会社の電話番号などをメモに取り、そのメモを見ながら電話機を使って電話し、注文や発注を行うことになる。また、番組の中で視聴者にアンケート調査を行うような場合も、視聴者は、応答するための電話番号などをメモに取り、そのメモを見ながら電話機を使って応答を行うことになる。このような場合、誤ダイヤルによる間違い電話が発生したり、電話番号を誤ってメモした場合の間違い電話などの問題が発生する。

【0004】 上記したように、従来の文字多重放送番組ではテレビ局からの一方的な放送を行い、その応答に関しては視聴者からの電話連絡を待つという方式であるために、応答期間が長くなる。また多くの間違い電話などを発生させるという問題を有していた。

【0005】 そこで、このような問題を解決するために、文字多重放送番組において放送局側からコンピュータプログラムデータを伝送し、受信機にはこのコンピュータプログラムを実行するプログラム実行手段を設け、視聴者が操作入力を与えたときに、プログラム実行手段が通信制御手段を介して自動的に電話機のダイヤリングを行い、視聴者の入力データを自動的に伝送するようにしようという提案が行われている。このようにすると、間違い電話も少なくなり、収集局に対する応答時間もリアルタイムに近くなる。以下、上記のようにコンピュータプログラムを送ったり、本放送番組を補足的に説明する補足データを送る番組のことを補完番組と言い、またコンピュータプログラムのことをスクリプトと称するこ

とにする。

#### 【0006】

【発明が解決しようとする課題】ところで上記のシステムを用いて実際にテレビショッピングを行う場合、種々の検討が必要である。即ち、テレビショッピングでは、視聴者がリモコン操作により応答するのみであるために、その発注書類がない。このために商品が届いてから実際に注文したのかどうかを確認する手段がない。また、商品を注文してもお金の支払いがその後、いくらになるのかは自分で慎重に管理しなければならない等の不具合が生じる。

【0007】そこでこの発明は、過去に注文した商品や価格の確認が容易にできるとともに、お金の支払いが何時までに、いくらになるのかを容易にわかりやすくすることができる電話注文機能を有するテレビ受信機を提供することを目的とするものである。

#### 【0008】

【課題を解決するための手段】この発明は、テレビジョン放送信号を受信できる受信手段と、前記受信手段の受信信号である番組映像信号を表示手段に表示させるための映像信号処理手段と、前記受信手段の受信信号に含まれておりその映像・音声信号とは独立したデータチャンネルに多重されて伝送されてくるデータ放送を受信し、復調し、副映像信号を得るデータ放送デコード手段と、前記データ放送デコード手段が復調した副映像信号を前記番組映像信号に合成する合成手段と、前記データ放送デコード手段が復調したデータ処理プログラムに基づいて動作し、操作入力信号に応答して、電話回線に自動的にダイヤリングを行ってデータ伝送を行う電話機能と、前記データ放送デコード手段が復調したデータ処理プログラムに基づいて動作し、テレビショッピングのための操作入力信号に応答して、伝送すべきデータを前記電話機能に供給するショッピング手段と、前記伝送すべきデータに対応する少なくとも商品の品目情報、その品目情報に対応する価格情報、個数情報、合計金額情報を記憶するための注文リストテーブルを有した記憶手段と、前記記憶手段の前記テーブルの内容を、操作信号に応じて読み出し、前記表示器に映像として表示せしめる手段とを具備する。

【0009】このように構成することにより、過去に注文した商品や価格の確認が容易にできるとともに、お金の支払いがいつまでに、いくらになるのかを容易にわかりやすくすることができる

#### 【0010】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施の形態を図面を参照して説明する。図1には、この発明の実施の形態であるテレビジョン放送を利用した双方向通信装置が適用されたシステムの例を示している。このシステムは、現行の文字多重放送の機能と電話通信機能とを活用することによって、テレビジョン放送の一方方向放送に

して、電話通信機能を付加し、上り方向のデータ伝送機能を拡張し、全体としては双方向通信機能を実現している。このシステムは、基本的には既存の文字多重放送システムを、ソフトウェア的に機能拡張している。よって、スクリプトを文字多重放送に追加して放送しても、現在のTV放送、文字放送、およびTV受像機にはまったく影響を与えることはない。

【0011】全体的システムは、TV受像機11、放送局12、電話回線網13、および収集局14を含むネットワークによって構成されている。放送局12は、文字放送のチャンネルを利用して、双方向性を実現するためのコンピュータプログラムであるスクリプトを補完番組に含めて通常のテレビ番組に同期して放送する。あるいは独立放送として所定放送時間内に繰り返し放送する。このスクリプトは、双方向通信システムの進行手続きを記述した一種のアプリケーションプログラムであり、TV放送信号の垂直帰線期間に重畳されて送信される。

【0012】スクリプトは、TV放送信号を受信したTV受像機11のメモリに貯えられ、例えばそのTV受像機11に組み込まれたプログラム実行装置（スクリプトデコーダ）によって実行される。このスクリプトデコーダは、現在の番組が補完番組であることを示すシンボルマーク例えば「i」を画面表示して視聴者にそれを通知し、視聴者からの操作入力に応じて、スクリプト実行を開始し、番組補足データの表示などの応答を行う。

【0013】視聴者による応答は、TV受像機11のなかで自足的に終わることもあるが、応答の結果を各地に備えたコンピュータ・システム（収集局14）に電話回線網13を経由して送り、場合によっては、放送局12が提供する番組内容にリアルタイムに反映させることも可能である。また、電話回線網13を介して収集局14側からデータを取り込むことも可能である。

【0014】TV受像機11には、文字多重デコーダを含む通常のTV放送受信回路に加え、双方向機能を実現するために、スクリプトデコーダおよびモデムが装備される。スクリプトデコーダは、放送局12から送られてくるTV放送信号の中からスクリプトを取り出し、それを実行することによって双方向通信を実現する。視聴者は、上りデータを送るために応答する場合には、TV操作のリモコンを用いて応答を行う。収集局14にデータが伝送されるときは、TV受像機11に接続されたモデムによって自動ダイヤルが行われ収集局14に接続される。上りデータは即座に送信される場合もあり、あるいは夜間など待ってから送信することもできる。

【0015】TV受像機11に追加されるモデムは、自動的にダイヤルする機能をもっているため、上りデータ伝送のために視聴者によるダイヤル操作は不要である。自動ダイヤル先の電話番号は、補完番組ごとに放送局12側からのスクリプトに埋め込んで送信されてくる。この電話番号は1つあるいは複数の場合があり、複数の場合

は、視聴者が送り先を選択できるようになっている。

【0016】スクリプトデコーダは、コンピュータプログラムを実行するプロセッサによって実現される。しかし、文字多重デコーダにも通常はプロセッサが内蔵されているので、実際には、スクリプトデコーダは文字多重デコーダをソフトウェア的に機能拡張することによって実現している。よって、スクリプトデコーダは、文字多重デコーダと、プログラムROMとから構成され、多くの回路を文字多重デコーダと共有している。

【0017】放送局12は、視聴者の応答を番組に反映させるなどの視聴者参加方式の番組を放送する場合に、通常の映像・音声を含む放送信号に、スクリプトを含む補完番組データを挿入して送信する。スクリプトを含む補完番組のデータの生成および挿入のための番組制作システムは、パーソナル・コンピュータと多重化装置で構成することができる。

【0018】放送局12は、通常の番組に追加するかたちで放送電波に補完番組を挿入して放送を行う。追加するコンピュータプログラムは、放送局自身が制作するもの、広告会社、通販会社などの第三者が制作し提供するものに大別される。さらに、放送局制作のものは、事前に用意できるものと、スポーツ中継時のようにライブで挿入されるものがある。

【0019】ここで、スクリプトの構成について説明する。スクリプトは、放送局12の制作システムによって作成され、通常の画像・音声と共に、送出される。スクリプトは、次のようなオブジェクトの集合として実現されている。

- 【0020】(1) 背景・表示素材
- (2) 動作ボタン
- (3) 文字列
- (4) 画像 など

各オブジェクトには、補完的な手順(手続き)を持たせることができ、この手続きは拡張BASIC言語などによって記述される。この言語は、通常のBASIC言語に双方向通信用の制御命令を持たせたものである。

【0021】このスクリプトの実行時には、まず最初に、画面の背景と動作ボタンなどの画面構成要素が表示される。視聴者がその動作ボタンを選択すると、そのボタンに対応するプログラムが起動される。

【0022】収集局14にはあらかじめ応答データの処理方法が登録されており、これに応じて収集した内容を、放送局、広告会社、スポンサ、通販会社などに再配送することができる。

【0023】この双方向通信システムで実現できる双方向番組の形態は、次の3つに大別できる。

- (1) 補完データ番組

・ 広告商品についての付加的な情報を選択表示する。

【0024】・スポーツ中継時のデータを選択的に表示する。

・ 番組内容の表示をする。

・ 料理リサビーを記憶しておき、後で表示する。

【0025】・幼児教育番組において、質問に対する答えに反応する。

・ クイズ番組において、視聴者の答えに反応する。

(2) 応答フィードバック番組(収集局を使う)

・ 政治、経済、社会報道に関するアンケートを採る。

【0026】・スポーツ番組でアンケートを採る。

・ 視聴者参加クイズ番組で、正答者の統計表示や、トナメントを行う。

(3) トランザクション付き番組(収集局を使う)

・ テレビショッピングで注文をサーバ(収集局)にて受け付ける。

【0027】・情報など要求付き広告で、カタログ要求などをサーバ(収集局)にて受け付ける。

・ 視聴率調査のため、視聴者の同意を得て、視聴番組データをサーバ(収集局)に送る。

【0028】図2の(A)及び(B)には、ハイブリッド伝送方式のTV文字多重放送信号において文字放送データが伝送されてくる期間を示している。即ち文字放送データは、垂直帰線期間の第14H(第277H)～第16H(第279H)、および第21H(第284H)に重畳されている。この垂直帰線期間には、さらにデータを多重可能な余裕があるので、例えば第10H(第273H)～第13H(第276H)に上述したスクリプトを多重して伝送することができる。スクリプトは、このように現行の文字多重位置とは異なる位置に多重しても良いが、現行の文字多重信号と同じ位置に時分割で伝送されてきてもよい。また、文字放送データを音声多重信号の一方の副チャンネルに乗せて送信することもでき、この場合には、FM受信部からのデータを取り込むことになる。

【0029】図3には、文字多重放送及びデータ放送で伝送される1ライン期間におけるデータバケットの構成例をさらに詳しく示している。データバケットの前には、ビット同期符号、バイト同期符号が配置されている。データバケット部は、プレフィックス、データブロック、チェック符号が含まれている。さらにプレフィックス部は、サービス識別符号、バケット制御符号からなる。このサービス識別符号を用いて、補完番組信号が到来していることの識別を行わせることができる。

【0030】図4には、TV受像機11に設けられる双方向通信装置、文字多重放送デコーダ及びスクリプトデコーダを含むデコーダ、つまり、文字多重及びデータ放送デコーダの具体的な回路構成が示されている。

【0031】受信チャンネルの映像信号は入力端子21を介して同期分離部22、A/D変換器23に供給される。映像信号の垂直帰線期間には図2で説明したように双方向デジタル通信のためのデータが多重されている。

A/D変換器23でデジタル化されたデータは、波形等

化部24で波形等化されデータ取り込み・誤り訂正部25に導入される。波形等化部24は、デジタル信号に変換された映像信号の伝送途中の劣化を補償するもので、映像信号に多重されているデジタル放送信号を分離し、その中の多重化データ及びクロックを出力する。データ取り込み・誤り訂正部25は、クロックに同期して多重化データを8ビット単位でバッファRAM26に取り込み誤り訂正を行う。

【0032】CPU27は、プログラムROM28の固定プログラムを基本にして動作する。文字フォントROM29には文字表示を行うための文字フォントが格納されており、このROM29に対して、希望の文字をアドレス指定することにより対応した文字データを読み出すことができる。

【0033】入力端子30には、TV受像機に同期した表示用の同期信号が導入され、表示制御部31に供給されている。表示制御部31は、表示メモリ32のデータをテレビジョン画像の再生に同期させて読み出すと共に、CPU27からの書き込み命令を受けて表示メモリ32に表示データを書き込む処理を行う。表示メモリ32から読み出されたデータは、カラーマップメモリ33に供給され表示データをアドレス入力とし、当該アドレスに対応する原色信号RGBの各レベルデータを出力する。このレベルデータは、D/A変換器34にてアナログRGB信号に変換し、出力端子から表示信号として導出される。なおこの表示信号は、図示しない合成手段によりテレビジョン画像信号と合成されグラフィックスがスーパーインポーズされたテレビジョン画像信号としてディスプレイに表示される。またD/A変換器34は、ディスプレイ側のインターフェースによっては省略し、RGB信号そのものを出力するようにしてもよい。

【0034】入力端子36からはリモコン操作部からの視聴者による操作信号が入力される。この操作信号は操作入力インターフェース(I/F)37を介してCPU27に取り込まれ解析される。

【0035】38は変調及び復調器(モデム)であり、通信制御部を構成しており、回線接続部39を介して電話回線に接続される。回線接続部39は、回線の接続、切断を制御するものでCPU27により制御される。

【0036】CPU27は、バスラインを介して各機能ブロック、即ちデータ取り込み・誤り訂正部25、プログラムROM28、文字フォントROM29、操作入力I/F37、表示制御部31、モデム38などに接続されている。さらにバスラインには、作業RAM41、番組RAM42、不揮発性メモリ43が接続されている。

【0037】番組RAM42は、放送局から伝送されてくるコンピュータプログラムを格納するメモリであり、視聴者の操作に応じて、ROM28に格納された固定プログラムの中のインタープリタに従い、このコンピュータプログラムの内容を解釈し、このコンピュータプロ

ラム(スクリプト)の手順を実行することができる。不揮発性メモリ43には、この受信端末(デコーダ)の固有の識別番号(ID)が格納されており、例えばテレビショッピング等で収集局14に注文データを伝送するときはこの固有の識別番号が利用される。収集局14では、IDを認識することにより、注文主を判別することになる。

【0038】上記の回路構成は、文字多重放送番組を処理する場合も用いられる。即ち、リモコン操作により文字多重放送番組の受信を指示すると、CPU27は、プログラムROM28に格納されている文字多重放送番組処理用のプログラムの支配下となるように切り換えられる。すると送られてきた文字データは、文字フォントROM29で表示データに変換されて表示制御部31を介して表示メモリ32に格納される。

【0039】図5は、この発明の一実施の形態における要部を示している。チューナ121で受信されたテレビジョン信号は、ビデオ処理回路122に入力され検波、ガンマ補正等の処理が施され、表示画像処理部123に20 入力される。表示画像処理部123では、輝度・色分離処理等が行われ、その出力番組映像信号は合成部124を介して、表示部125に供給される。

【0040】またビデオ処理回路122におけるビデオ信号は文字多重及びデータ放送デコーダ126に20 入力される。このデコーダ126の構成は、ほぼ図4で説明した通りであるがここでは、この発明に係る部分をまとめて示している。文字多重及びデータ放送デコーダ126の出力は、文字多重放送処理モードあるいはデータ放送処理モードのときは副映像信号として合成部124 30 に入力され、番組映像信号と合成され、文字表示や補足データの表示を得ることができる。

【0041】文字多重及びデータ放送デコーダ126は、データ放送をデコードするデコード部201と、電話機能部202と、識別番号部203、さらに不揮発性メモリ部(EEPROM)204を有する。電話機能部202は、図4のモデム38、回線接続部39、CPU27等に相当し、識別番号部203は、不揮発性メモリ43に相当し、デコード部201はその他のブロック及びCPU27に相当する。

【0042】ここで、今、テレビショッピングが行われているものとする。すると、視聴者は、リモコン操作器301を操作して、購入したい例えば所望の商品番号を入力する。するとその情報をメインコントローラ302が認識し、デコーダ126内のCPU27に伝達する。CPU27は、予め伝送されているスクリプト(管理プログラム)に応じて動作し、注文データを生成し、電話機能部202に供給する。すると今度は、メッセージにより伝送しますかという確認の表示が得られる。ここで視聴者が伝送許可の操作を行うと、自動ダイヤリングが行われ実際に電話回線に伝送データが出力されることに

なる。即ち、このシステムでは、電話機能部202としては自動ダイヤリング処理部を有し、この自動ダイヤリング処理部は、操作信号に应答して電話回線にダイヤリング接続される。

【0043】ここでこのシステムでは、テレビショッピングを行った場合、どのような商品を購入したか、また、価格はいくらか、さらに、支払い方法はどのような支払い方法であるかをメモリ部204に記憶することができ、後で確認のために表示できるようになっている。またこのようにテレビショッピングで蓄積されたデータベースを元にして種々の管理を行い、表示しユーザの利用価値を高めている。

【0044】図6は、テレビショッピングを行った場合に蓄積されるデータの内容を示している。例えばデータテーブルが構築され、項目としては発注者名、品目、価格、個数、合計金額、支払期日、一括支払かどうかを示す一括情報部、分割の場合は分割の残り回数と、一回で支払う金額情報、支払が終了しているかどうかを示す終了情報、購入日の情報等がある。

【0045】図7はテレビショッピングを行う場合のデータ処理の流れを示している。また図8にはテレビショッピングを行うときに用いられるリモコン操作器301の外観を示している。

【0046】テレビショッピングのボタン(図8の81)が押されると、IDコードの入力要求するメッセージが画面に表示される(図7のステップA1~A3)。IDコードが入力されると、対応するID所有者の個人テーブル(図6参照)がメモリ204内にあるかどうかの判定が行われる。個人テーブルがない場合は、個人テーブルを作成してくださいというメッセージが表示され(ステップA12)、個人テーブルがある場合には、次のステップ(ステップA5)にうつり、購入したい商品コードを入力して下さいというメッセージが表示される。商品コードがリモコン操作器301のテンキー群82、あるいは文字群83のキーを利用して商品コードが入力される。

【0047】商品コードが入力されると、管理プログラムにより支払い方法が一括の場合、キー「X」を押してください、分割の場合キー「Y」を押してくださいのメッセージが表示される。また支払い期日も表示されており、この期日を確認したかどうかの確認入力(支払い期日を確認したらキー「W」を押して下さい)を要求するメッセージも表示される(ステップA6、A7)。これにより、図6のテーブルに記入すべきデータが揃うので、テーブルへのデータ書き込みが実施され(ステップA8)、次に伝送宜しいですかというメッセージが表示される。伝送許可キー84が操作されると、実際に注文商品のコードと注文者のID等が電話回線を通じて伝送される(ステップA9、A10、A11)。

【0048】ステップA12の個人テーブル作成ルーチ

ンでは、注文者の例えば名前の入力が必要される。この操作は、図8のリモコン操作器301のテンキー群82及び文字群83のキーを利用して入力される。そして終了ボタン85を押すと、当該ID保有者のテーブルが作成される。

【0049】上記したようにテレビショッピングを行うと、その履歴データが蓄積されるようになっている。次に、この履歴データは、次のように利用される。例えば、管理データ要求をするためにキー86を操作すると、画面上に視聴者のIDコードを入力して下さいとのメッセージがでる。次に、IDコードを入力すると、図6に示すようなテーブルが画面上に表示されるようになっている。

【0050】ここで、次のような更新処理も行われる。即ち、機器内部あるいは放送局からデータとして伝送されてくる日付データを利用し、支払い期日が経過している商品については、終了の項目に終了マークが記入される。また、分割支払いを行う商品についても、日付データと期限データを参照して、残りが何回あるかを計算し、その残り回数が更新される。期限データを日付データが過ぎており1か月以内であれば、期限データを1か月後に書き直し、残り回数を1減じる処理を行う。期限データを日付データが過ぎており2か月以内であれば、期限データを2か月後に書き直し、残り回数を2減じる処理を行う。なお、分割金額は、例えば均等であり商品注文時に自動的に設定される。

【0051】さらにこのシステムでは、次のようなサービス手段も含まれている。即ち、キー86を操作して要求操作を行い、画面上に図6に示すようなテーブルを表示させ、次に、キー87を操作すると、残金の計算処理を行い、残金の合計額を表示することができる。この場合、期間指定を行い、指定期日を入力すれば、その期日までに支払わなければならない合計金額を計算する。期間指定はキー88を操作することにより可能である。またキー89を操作すると、ソート処理が行われ、終了情報として支払い終了を示す終了マークが付いている品目と、未終了の品目とを分類して注文リストテーブルに配置し直す処理が行われる。図6の例は、支払いの済んだ商品のリストが後の方に集めて配置されている。また、上記した図6のテーブルでは、商品に関する補足データとして伝送されている保償期間データを保存するようにしてもよい。

【0052】

【発明の効果】以上説明したようにこの発明によれば、過去に注文した商品や価格の確認が容易にできるとともに、お金の支払いが何時までに、いくらになるのかを容易にわかりやすくすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明のデータ放送送信及び受信装置が適用されたシステムの例を示す図。

11

【図2】文字多重及びデータ放送信号の説明図。

【図3】文字多重及びデータ放送信号のデータパケットの例を示す図。

【図4】この発明に係わる文字多重及びデータ放送デコーダを示す図。

【図5】この発明の装置の実施の形態の一例を示す図。

【図6】この発明の装置のメモリ内に構成されるデータテーブルの例を示す図。

【図7】この発明の装置の動作例を説明するために示したフローチャート。

【図8】この発明の装置で用いられる一例であるリモコン操作器の外観を示す図。

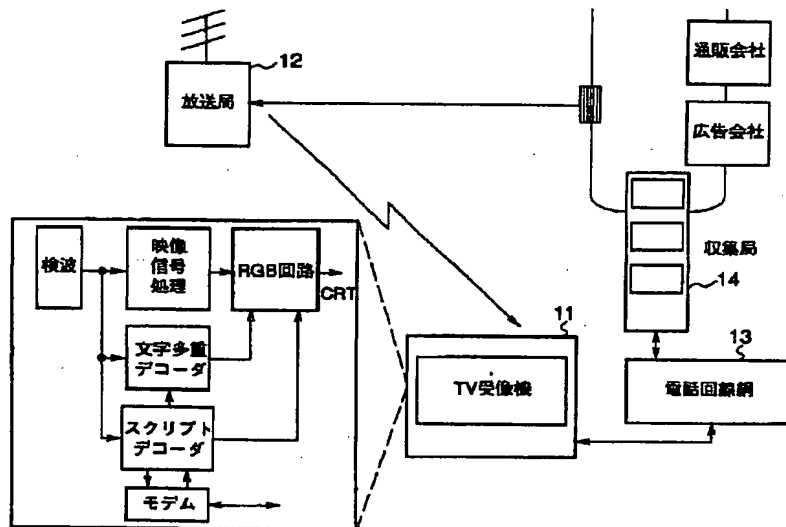
【符号の説明】

11…TV受像機、12…放送局、13…電話回線網、

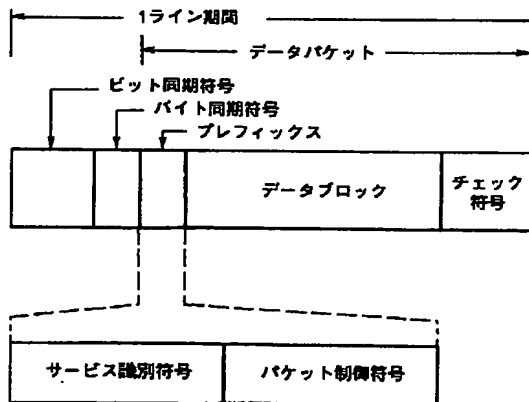
12

14…収集局、22…同期分離部、23…A/D変換器、24…波形等化部、25…データ取り込み・誤り訂正部、26…バッファRAM、27…CPU、28…プログラムROM、29…文字フォントROM、31…表示制御部、32…表示メモリ、33…カラーマップメモリ、34…D/A変換器、37…操作入力I/F、38…モデム、39…回線接続部、41…作業RAM、42…番組RAM、43…不揮発性メモリ、121…チューナ、122…ビデオ処理回路、123…表示画像処理部、124…合成部、125…表示器、126…文字多重及びデータ放送デコーダ、201…デコード部、202…電話機能部、203…識別番号部、301…リモコン操作器、302…メインコントローラ。

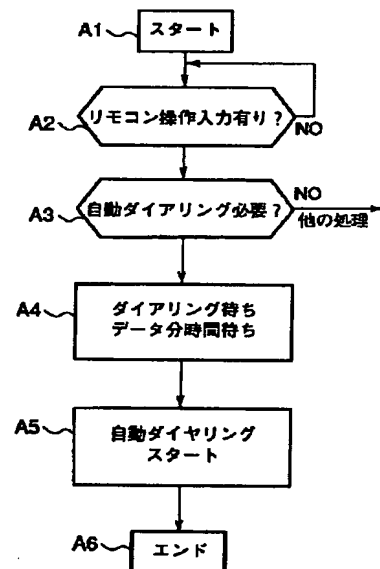
【図1】



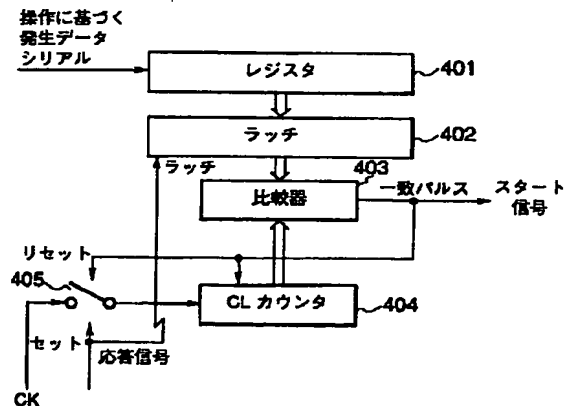
【図3】



【図6】

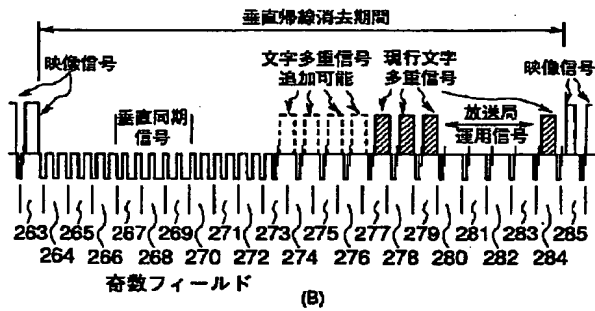
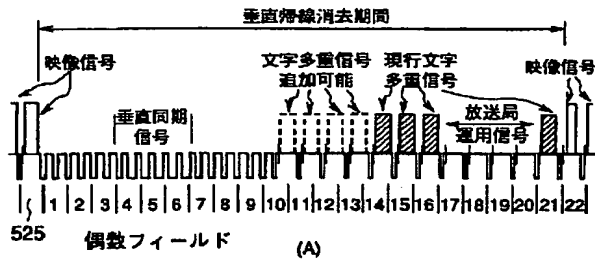


【図8】



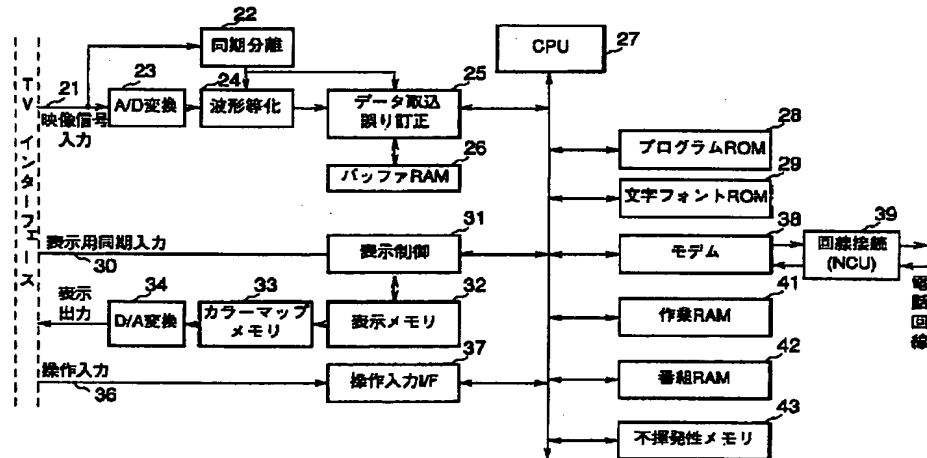


【図2】

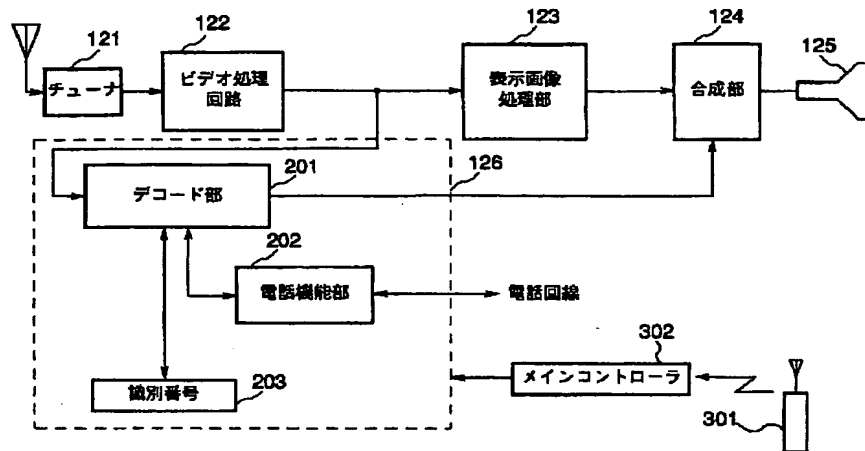


TV文字多重信号のハイブリット伝送方式

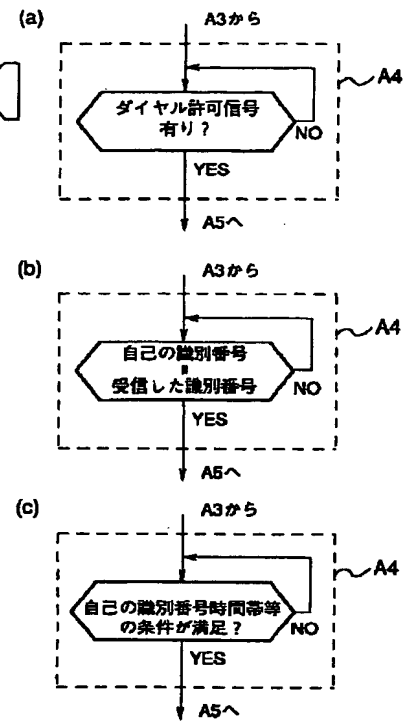
【図4】



【図5】



【図7】



【手続補正書】

【提出日】平成8年7月29日

【手続補正1】

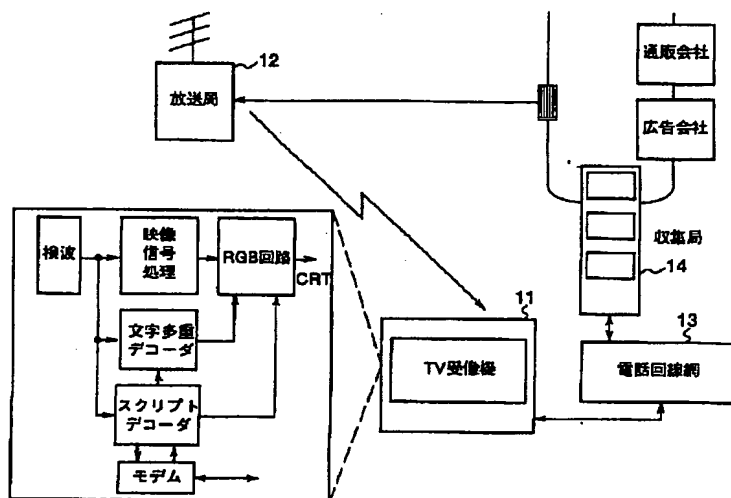
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

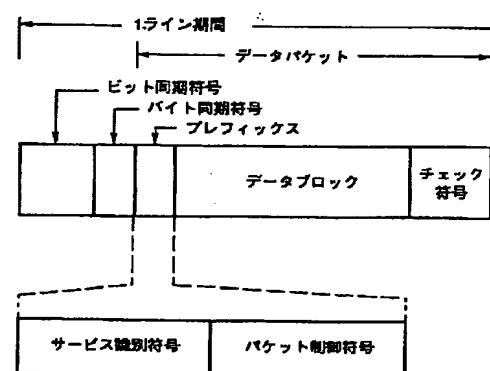
【補正方法】変更

【補正内容】

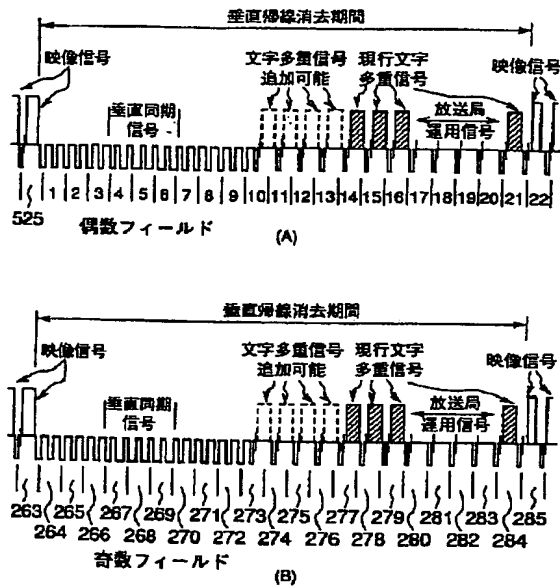
【図1】



【図3】

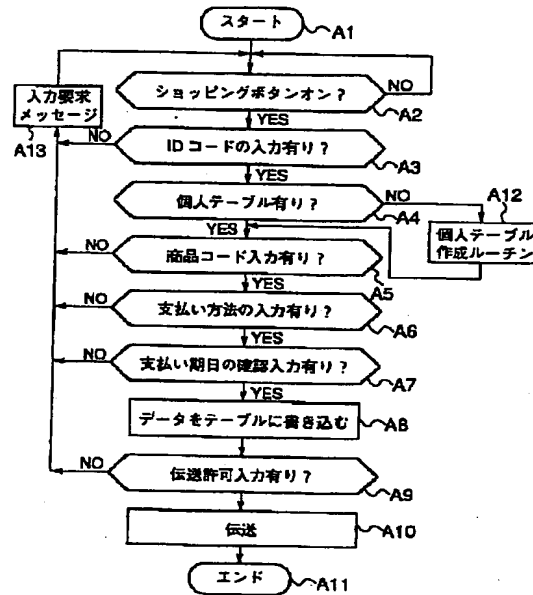


【図 2】

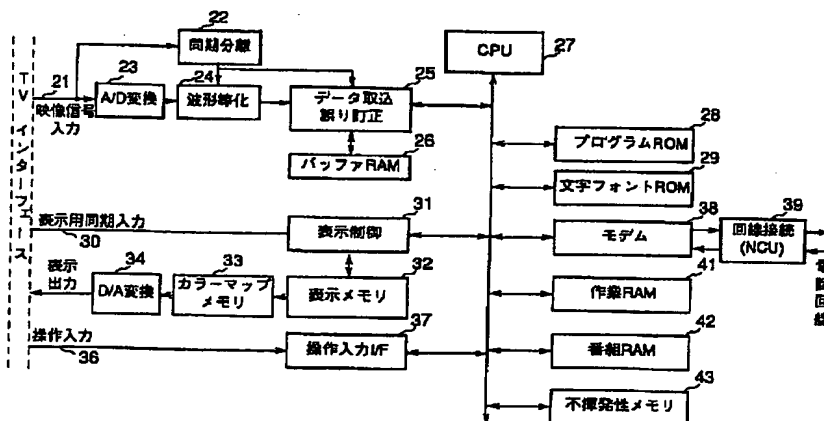


TV文字多重信号のハイブリット伝送方式

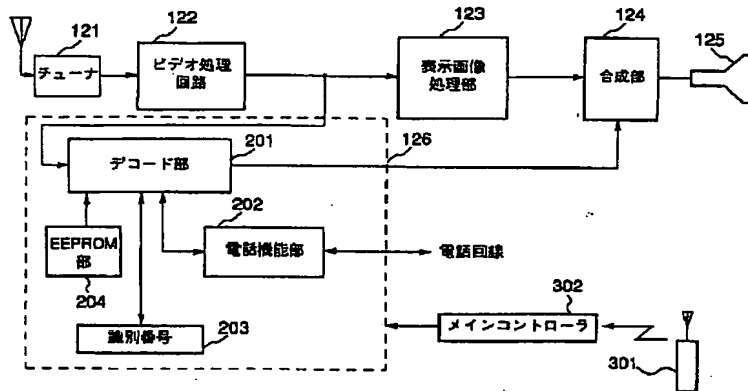
【図 7】



【図 4】



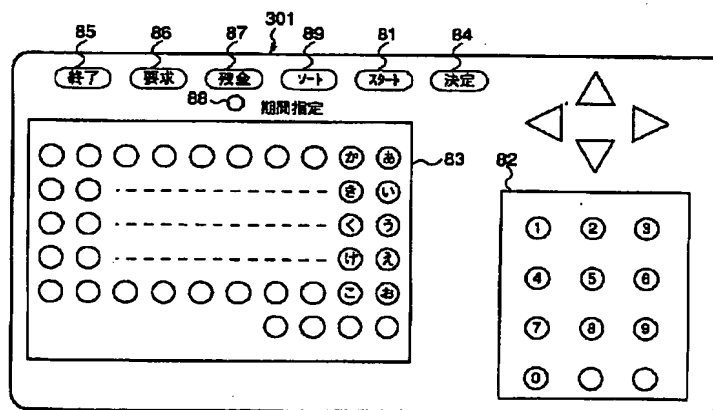
【図5】



【図6】

| 注文者   |         | サウトフミオ |         |           |    |        |    |           |  |
|-------|---------|--------|---------|-----------|----|--------|----|-----------|--|
| 品目    | 価格      | 個数     | 合計金額    | 支払期日      | 一括 | 残り回数金額 | 終了 | 注文日       |  |
| VIR   | 100,000 | 1      | 100,000 | '95.10.15 |    | 50,000 |    | '95.09.20 |  |
| テレビ   | 150,000 | 1      | 150,000 | '95.12.15 | ●  |        |    | '95.09.21 |  |
| エアコン  | 250,000 | 1      | 250,000 |           |    |        | ●  | '95.05.30 |  |
| センプーキ | 20,000  | 1      | 20,000  |           |    |        | ●  | '95.04.10 |  |

【図8】



フロントページの続き

| (51) Int. Cl. <sup>6</sup> | 識別記号 | 庁内整理番号 | F I          | 技術表示箇所 |
|----------------------------|------|--------|--------------|--------|
| H 0 4 N 7/08<br>7/081      |      |        | H 0 4 N 7/08 | Z      |

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☒ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**